

8月16日（金）、東北ブロックキャラバンが南北同時に4つの県でおこなわれました。宮城ではじめて地元テレビ局が取材に入り、いずれもニュースで放送、世論の関心の高さがうかがえます。カメラを前にしても県の姿勢は変わらず、署名運動を強めていく決意を固める機会でした。

## 宮城私教連 ニュース

仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台  
宮城県私立学校教職員組合連合  
TEL 022-271-3007  
FAX 022-271-3008  
24-08号 2024年8月20日

### ブロックキャラバンの報告

8月16日、私学助成の拡充を要請する東北ブロックキャラバンをすすめる会と共同で開催しました。今年は同日に北東北（岩手・秋田）と南東北（福島・宮城）に分けて要請行動を行い、8/16の午後に行われた宮城県公益私学文書課への要請には計12名の教員・保護者が出席しました。

### 「自治体間の格差是正は国が成すべき問題」「知事への直接要請は不要」 私学に冷たい県の対応

現在、宮城県が実施している授業料補助は「年収590万円～620万円未満世帯に年額118,800円」で、対象は宮城県で私学に通う高校生約16,000人のうち、わずか3%相当の約500のみです。こうした現状を踏まえ、要請団からは多くの自治体が私学助成を大幅に拡充させていること、未だに学費負担が自由な学校選択の障壁になっていること、助成の所得要件によって保護者の働き方が制限されていること等、様々な立場から現状を当局に伝えました。しかし、対応にあたった私学公益法人課の伊藤課長（課長含む5名）の回答は「県財政が厳しい」「他にも用途がある」「自治体間の格差是正は国の責任」「各自治体が行っている“助成拡充レース”には乗らない」というもので、あくまでも「皆さんの意見を国に伝えます」という対応に終始しました。また、多くの自治体では知事の決断が制度拡充に大きな影響を与えていることから、「是非とも村井知事に会って思いを伝えたい」と要請しましたが、「知事の考えに基づいて回答しているので、会っても変わらない」という極めて冷淡な回答でした。

### 多くのメディアが要請行動を報じています！！

学費の負担軽減求め 私立学校の保護者などで作る団体が県に要請書



一方で、今回のキャラバンは東日本放送、東北放送、河北新報、ヤフーニュースなど多くのメディアによって報じられています。

今年は初めて要請行動の場にTVカメラが入るなど、大きな注目を集めています。全国で私学助成制度が拡充しつつある現在、宮城においても大幅な引き上げを実現しましょう。

← KHB東日本放送 (8/16「チャージ！」)

裏面につづく

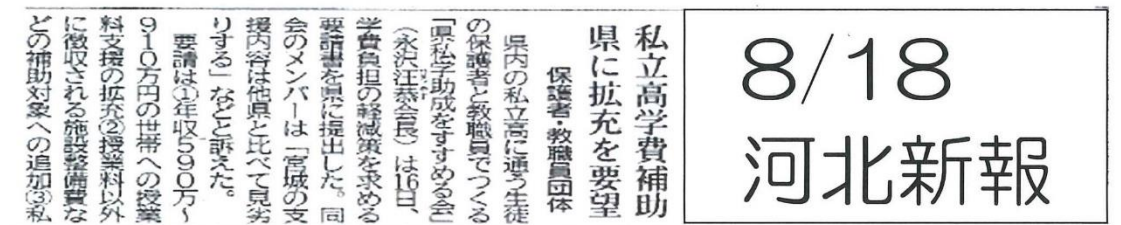
### 「東京や大阪とどんどん格差が開いていく」私立高校の保護者らが授業料支援の拡充求める 県の支援対象世帯を年収910万円未満まで引き上げ要請 宮城

2024/08/17 15:42

TBC東北放送



↑ TBC東北放送（8/17「Nスタみやぎ」）



↑ 8/16 午前に行われた福島県での要請行動。福島県が実施する授業料補助は宮城県と同水準ですが、経常費助成は全国トップレベルです。

## 国・県を動かすために署名集約に注力しましょう。宮城の目標は2万筆！こまめな集約確認を行い、目標を達成しましょう！！